

令和3年度 堀あさひこども園 園内研修 自己評価表

堀あさひこども園では、「朝の会」と「主活動」の園内公開保育による園内研修を行っております。令和3年度は経験1年目の保育士【3歳未満児クラス】の公開保育を実施しました。「朝の会」では、年齢に応じて「社会」「自然」「季節」に関心が持てるよう心がけています。また3年度も「主活動」は前年度から引き続き、年齢に応じたつながりのある保育を目指し、保育の流れや展開を大切にしました。また、コロナ禍にあって遊びの経験が乏しくなっている子ども達が興味を持って十分に遊び込める環境に配慮しました。参加者の振り返りシートをもとに各段階の平均を一覧にまとめました。

「朝の会」 ※「園歌」を必ず歌う

A:よくできている B:ほぼできている C:どちらともいえない D:努力が必要 E:とても努力が必要

評価項目	A	B	C	D	E
1. 立ったり座ったりした時の姿勢(椅子の座り方)は正しいか。話を聞く際の体の向きは適切か		○			
2. 複数担任のクラス職員の配置は、適切でかつ臨機応変に対応できているか。	○				
3. 出席呼名の仕方、返事の仕方は統一されているか。	○				
4. 「月の歌」を積極的に取り入れ、姿勢や声の出し方に注意し、正しく歌うことができているか。		○			
5. 季節や年齢の発達に応じた歌をともに歌い、歌う楽しさを伝えているか。		○			
6. 園歌のメロディーを覚え、親しんで歌っているか。		○			
7. 担任から「社会・自然・季節」に関心を持たせるような話を年齢に応じて盛り込んでいるか。	○				
8. 自分の気持ちを受け止めてもらいながら、保育者や友だちと信頼関係が築けるような雰囲気朝の会であったか。		○			

◇ 振り返りと今後の課題

- ・ 3歳未満児のクラスであっても日々の積み重ねの指導により、正しい姿勢を心がけながら歌ったり話を聞いたりしようとする意識が育ってきている。
- ・ 保育者が保育の準備を万全にしておく、子どもの思わぬ反応にも対応できることが理解できた。
- ・ ピアノ伴奏については実力において個人差があり、新しいレパートリーの挑戦や正しい奏法等引き続きの課題となった。

「主活動」 ※各年齢に応じた遊び

A:よくできている B:ほぼできている C:どちらともいえない D:努力が必要 E:とても努力が必要

評価項目	A	B	C	D	E
1. 椅子に座った姿勢、話を聞く際の体の向きは適切か。	○				
2. 主活動の導入は、スムーズに全体に伝わっているか。 活動に興味・関心が持てたか。		○			
3. 複数担任のクラス職員の配置は、適切でかつ臨機応変か。	○				
4. 活動に取り組むにあたってもれなく準備されているか。		○			
5. 活動中、年齢に応じての声掛け・働きかけは適切で個々から全体にも目を向けて行っているか。		○			
6. 用具の設置は適切で、安全の配慮がされているか。活動の変化に応じ臨機応変に工夫しているか。		○			
7. 活動をやり遂げた個々への言葉かけは適切か。主活動の最後のまとめはできているか。		○			
8. 子ども達は意欲を持って活動に取り組み、創意工夫をしながら遊びを継続的に展開できているか。	○				
9. 導入・準備・環境など、今日の主活動に対して担任のねらいが達成できているか。		○			
10. 保育室の室温・換気に気を配り、園児が密にならないよう安全な環境に配慮されていたか。	○				

◇ 振り返りと今後の課題

- ・ 各クラスとも年齢に応じた主活動を『活動の展開』を念頭に置いて組み立てていった。それぞれのクラスで、子どもの興味をひきつける工夫が見られたので、今後は継続していくことにも力を注いでいきたい。
- ・ 運動会といった行事に繋げる遊びもみられ、保育の流れを大切に活動が感じられた。
- ・ コロナ禍において外部研修に参加する機会も少なくなり、「伝達研修」ということで、職員が講師となり「鍵盤ハーモニカ」や「和太鼓」の研修を実施できたことは、職員の意識の向上やスキルアップにも繋がった。